

蠟梅 Now



5年後の東京オリンピック開催日となる7月24日、五輪のエンブレムが公表され、シンプルながらも力強いメッセージ性が備わっていると絶賛された。

27日、すったもんだの挙句、メイン会場となる新国立競技場については、開閉屋根を断念、必要でない設備はそぎ落として工期・工費の圧縮につなげる方針が固まった。

国際コンペを経て、12年12月に発表された基本計画では、総工費の条件は1300億円とされていた。招致が決まった翌月の13年10月、競技場建設の事業主体、JSCが精査したところ、それが3000億円に跳ね上がった。非難が噴出。14年5月、基本計画の見直しが行われ、1625億円まで引き下げられた。が、15年6月、JSCが工費は2520億円だと表明。再び、世論の厳しい批判に曝され、安法法制への世論の支持が広がらない中、支持率を落とし続けている政府は、7月17日、ついに安倍首相が計画を白紙撤回した。

責任者不在の舞台劇は一旦、閉幕。政府は総工費1800億円程度を想定し、年明けには着工する方針だが、はて第二幕は・・・？

フェニックスの如く、がんばろう 日本！

閑話休題。

7月20日頃までに、北陸、東北など一部を除いて列島は概ね梅雨明けした。前後して、猛暑が列島を覆っている。28日頃からは、みずがめ座流星群がピークを迎えている。寝苦しい日が続く中、夜空を見上げて流れ星との遭遇を試みるのも一服の清涼剤になるかもしれない。

新緑が鮮やかに映える時節、浮かんだのが、「目には青葉山ホトトギス初鯉」。暑い中、力の漲る時期でもある。当法人のシンボルツリー「蠟梅」も、親は子孫繁栄のための結実に向けて精力的な活動に入っている。

実生に成功した蠟梅2世の一株は、誕生した西神から筆者宅のバルコニーに引っ越して2年目の夏を迎える。緑の若葉をまとい、猛暑にやや勢いを欠くが、順調。更なる成長に向けて、土俵を大きくしてやることも考えてみる。



《発行者》

特定非営利活動法人 未来技術フォーラム神戸
事務局長 大森 信
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 2-2-4
TEL&FAX : 050-2014-2293 (IP Phone)
E-mail : info@npo-ftfk.or.jp
URL : <http://www.npo-ftfk.or.jp>